



2020年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年4月3日

上場会社名 株式会社バイク王&カンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3377 URL <https://www.8190.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石川秋彦
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理部門担当 (氏名) 竹内和也 (TEL) 03-6803-8855
 四半期報告書提出予定日 2020年4月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第1四半期の業績(2019年12月1日~2020年2月29日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第1四半期	4,545	11.9	△174	-	△150	-	△120	-
2019年11月期第1四半期	4,063	3.9	△299	-	△278	-	△299	-
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年11月期第1四半期	△8.66		-					
2019年11月期第1四半期	△21.47		-					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第1四半期	6,090	3,900	64.0
2019年11月期	6,180	4,049	65.5

(参考) 自己資本 2020年11月期第1四半期 3,900百万円 2019年11月期 4,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	-	2.00	-	2.00	4.00
2020年11月期	-	-	-	-	-
2020年11月期(予想)	-	2.50	-	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の業績予想(2019年12月1日~2020年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,200	0.9	105	△8.7	155	△10.1	50	△24.5	3.58
通期	20,500	1.9	230	9.1	370	2.9	210	2.0	15.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期 1 Q	15,315,600株	2019年11月期	15,315,600株
② 期末自己株式数	2020年11月期 1 Q	1,350,000株	2019年11月期	1,350,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期 1 Q	13,965,600株	2019年11月期 1 Q	13,965,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直しに加え、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られる等、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大等による世界経済の不確実性により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するバイク業界におきましては、国内におけるバイクの保有台数は約1,073万台（前年比2.1%減）と前年を下回るものの、当社の主力仕入とする高市場価値車種である原付二種以上は537万台（前年比0.7%増）と前年並みとなっております^{※1}。また、新車販売台数は約33万台（前年比6.1%減）と前年を下回るものの、高市場価値車種は約19万台（前年比5.2%増）と前年を上回っております^{※2}。

※1. 出所：一般社団法人日本自動車工業会(2018年3月末現在)

※2. 出所：一般社団法人日本自動車工業会(2018年実績)

このような市場環境のもとで、当社は、ビジョンとして掲げる「バイクライフの生涯パートナー」の実現に向けて、従来のバイク買取専門店としての「バイク王」から、バイクに係る全てのサービスを総合的に提供する「バイクのことならバイク王」と言われるブランドへ進化を目指しております。そして、一人ひとりのお客様満足度のさらなる充実とともに長期にわたって多くのお客様に支持していただける企業になること、さらに、お客様とともにより豊かなバイクライフを創り上げていく企業となることを実現したいと考えております。

当事業年度においては、従来から進めてきた複合店（買取およびリテール販売を展開する店舗）における仕入力および販売力の強化をさらに推進し、より一層お客様満足度を高めてまいります。

また、例年、第1四半期累計期間は、冬場となることからバイクのオフシーズンとなり需要が低下するため、赤字を計上しており、これを解消することは大きな課題と捉えております。

上記を踏まえ、当第1四半期累計期間においては、仕入力の強化としてマスメディアの媒体構成の最適化とWEBを中心とした効果的な広告展開を推進するとともに、人員の適正配置・拡充、育成強化に注力し、お客様からのお問い合わせに迅速に対応できる体制強化に努めました。これにより、仕入は高市場価値車種を中心に量と質ともに好調に推移し、第2四半期以降のオンシーズンに向けた在庫も十分に確保することができました。

販売力の強化においては、マーチャンダイジングサイクルを推進し、店舗の移転や増床に加え、リテール販売の商品ラインアップの拡充を図るとともに、接客力向上および売り場改善による既存店の強化に努めた結果、リテール販売台数は増加いたしました。

これらの取り組みにより、全体の販売台数は前年同期をやや上回り、平均売上単価（一台当たりの売上高）は前年同期を上回ったことにより、売上高は増収となりました。加えて、平均粗利額（一台当たりの粗利額）が前年同期を上回ったことにより売上総利益も増益となりました。

営業利益以降の各段階利益につきましては、販売費及び一般管理費の増加を上回る売上総利益の改善により、赤字は大幅に縮小いたしました。これにより、課題であった赤字縮小に一定の成果をあげることができました。

以上の結果、売上高4,545,297千円（前期比11.9%増）、営業損失174,665千円（前年同期は299,855千円の営業損失）、経常損失150,356千円（前年同期は278,600千円の経常損失）、四半期純損失120,920千円（前年同期は299,856千円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて217,097千円減少し、3,919,709千円となりました。これは主に、現金及び預金が530,723千円、売掛金が58,487千円減少し、商品が382,193千円増加したためであります。

(固定資産)

固定資産は、前事業年度末に比べて127,483千円増加し、2,170,841千円となりました。これは、ソフトウェアの増加等により「無形固定資産」が60,480千円、繰延税金資産の増加等により「投資その他の資産」が55,834千円、工具、器具及び備品の増加等により「有形固定資産」が11,168千円増加したためであります。

(流動負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて34,827千円増加し、1,708,840千円となりました。これは主に、未払金が80,068千円、前受金の増加等により「その他」が85,128千円、買掛金が20,203千円増加し、未払法人税等が106,300千円、賞与引当金が43,811千円減少したためであります。

(固定負債)

固定負債は、前事業年度末に比べて24,408千円増加し、481,240千円となりました。これは、長期未払金や長期リース債務の増加等により「その他」が22,504千円増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて148,850千円減少し、3,900,468千円となりました。これは主に、利益剰余金が148,851千円減少(株主配当27,931千円、四半期純損失120,920千円)したためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2020年1月10日に公表いたしました決算短信に記載の業績予想から変更ありません。

なお、現時点での新型コロナウイルスによる業績への影響はありません。今後も状況の変化を注視してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年11月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,305,364	774,640
売掛金	201,139	142,652
商品	2,434,678	2,816,871
貯蔵品	7,894	10,602
その他	187,729	174,941
流動資産合計	4,136,806	3,919,709
固定資産		
有形固定資産	765,487	776,656
無形固定資産	571,999	632,479
投資その他の資産		
その他	728,384	784,218
貸倒引当金	△13,017	△13,017
関係会社投資損失引当金	△9,495	△9,495
投資その他の資産合計	705,871	761,705
固定資産合計	2,043,358	2,170,841
資産合計	6,180,165	6,090,550
負債の部		
流動負債		
買掛金	201,202	221,406
短期借入金	100,000	100,000
未払金	477,365	557,434
未払法人税等	130,400	24,100
賞与引当金	101,353	57,542
その他の引当金	3,102	2,384
資産除去債務	1,148	1,403
その他	659,440	744,569
流動負債合計	1,674,013	1,708,840
固定負債		
資産除去債務	194,058	195,962
その他	262,774	285,278
固定負債合計	456,832	481,240
負債合計	2,130,846	2,190,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	590,254	590,254
資本剰余金	609,877	609,877
利益剰余金	3,205,307	3,056,455
自己株式	△356,229	△356,229
株主資本合計	4,049,210	3,900,358
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	108	110
評価・換算差額等合計	108	110
純資産合計	4,049,318	3,900,468
負債純資産合計	6,180,165	6,090,550

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)
売上高	4,063,349	4,545,297
売上原価	2,331,954	2,582,785
売上総利益	1,731,395	1,962,511
販売費及び一般管理費	2,031,250	2,137,176
営業損失(△)	△299,855	△174,665
営業外収益		
受取利息及び配当金	242	143
クレジット手数料収入	16,359	19,506
その他	5,453	5,820
営業外収益合計	22,055	25,470
営業外費用		
支払利息	800	700
為替差損	-	460
その他	0	0
営業外費用合計	800	1,161
経常損失(△)	△278,600	△150,356
特別利益		
固定資産売却益	69	-
特別利益合計	69	-
特別損失		
固定資産売却損	-	89
固定資産除却損	0	633
減損損失	5,839	-
特別損失合計	5,839	722
税引前四半期純損失(△)	△284,370	△151,079
法人税、住民税及び事業税	13,653	13,761
法人税等調整額	1,832	△43,920
法人税等合計	15,485	△30,158
四半期純損失(△)	△299,856	△120,920

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。